

NEWS RELEASE

報道関係各位

2024年12月9日

【最大4台のスタックに対応！建屋間の長距離接続に最適】

ー 全ポート10G対応レイヤー3スイッチのファームウェアバージョンアップを実施 ー

アライドテレスिस株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 サチエ オオシマ）は、オール10G対応レイヤー3スイッチ「x540Lシリーズ」のOS「AlliedWare Plus」のファームウェアバージョンアップにより、最大4台のVCS（バーチャルシャーシスタック）に対応します。また、当社ウェブサイトから当該ファームウェア「Ver. 5.5.4-1.2.1」のダウンロードサービスを12月9日より開始いたします。



最大4台のスタックに対応！ 建屋間の長距離接続に最適

対象製品：x540Lシリーズ
AlliedWare Plus ファームウェアバージョンアップVer. 5.5.4-1.2.1

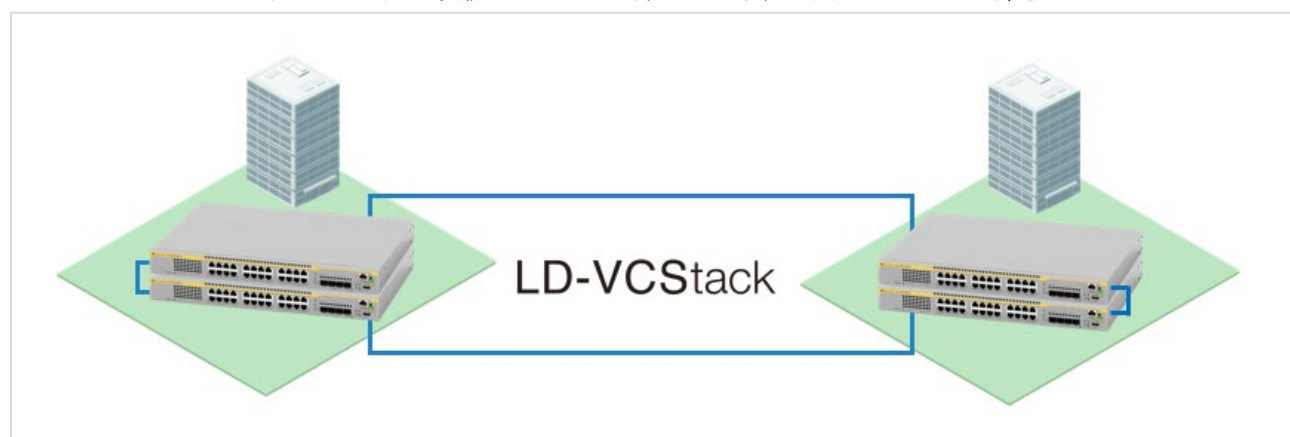
本ファームウェアバージョンアップにより、オール10G通信に対応した「x540Lシリーズ」は、スイッチ間をスタックリンクで接続して1台の仮想スイッチとして動作させる機能「VCS^(※1)」での最大スタック台数を、従来の2台から4台までに拡張しました。

スタックできる台数が増えることで、単純なポート数の増加や冗長性の向上だけではなく、長距離間スタックの利用により柔軟なネットワークの構築が可能となります。また、4台のx540Lシリーズ・スイッチで同じIPアドレスを利用し、仮想的に1台のスイッチとして動作するため、管理が容易となるほか、ネットワークの設計を簡素化することができるようになります。

<ユースケース>

それぞれの建屋で2台の筐体による冗長（VCS）を行いながら、LD-VCS（長距離VCS）を利用して離れた場所にある2棟の建屋同士を接続。

●x540Lシリーズ4台をスタック接続で活用し2棟の建屋間のネットワークが柔軟に



●ユースケースのメリット

- ・ 建屋間の接続はルーティング設定などを必要としないシンプルな構成が可能
- ・ 2 棟の建屋で同じ IP アドレスを利用でき、ネットワーク設計が簡素化
- ・ 災害などにより大規模な通信断が片方の建屋で発生しても、もう一方の建屋では継続したネットワークの利用が可能
- ・ 筐体の冗長化により、通信負荷が分散され安定したネットワーク環境の提供が可能
- ・ 仮想的に 1 台のスイッチとして動作するため、ネットワーク管理が容易に

<バージョンアップ概要>

今回のバージョンアップの詳細については、こちらのリリースノートをご覧ください。

<https://www.allied-telesis.co.jp/support/>

- ・ バージョン名 : AlliedWare Plus Ver. 5.5.4-1.2.1

※1 VCS…Virtual Chassis Stack の略で、負荷分散型の冗長化を実現するソリューション。詳しくはこちらをご確認ください。

<https://www.allied-telesis.co.jp/it-infra/solution/hard/switch/vcs/>

注) 記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレスिसホールディングス株式会社、アライドテレスिस株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です。

<<製品に関するお問い合わせ>>

E-Mail: info@allied-telesis.co.jp

<https://www.allied-telesis.co.jp>

アライドテレスिस株式会社

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>

マーケティングコミュニケーション部

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-telesis.co.jp

東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2 TOC ビル